

2023-2024年度
上野東ロータリークラブ クラブスローガン「三十九の人
三十九の場を始めて
例会の始まらんとす」

週報

WEEKLY REPORT 2023-2024

事務所 三重県伊賀市西明寺2756-104 ヒルホテルピア伊賀内
TEL 0595-24-4650 FAX 0595-24-4656例会 毎週木曜日 12:30点鐘 第3・第5週例会 18:00点鐘
ヒルホテルサンピア伊賀 TEL 0595-24-7000

世界に希望を生み出そう

2017/No.34

URL: <http://www.ict.ne.jp/~u-eastrc/> e-mail: u-eastrc@ict.ne.jp

本日の例会 第2018回 2024年4月4日(木)

移動例会

観桜例会 山溪寺にて

開会点鐘 12:30

国歌斉唱『君が代』RC『奉仕の理想』

食事の時間

出席報告

会長の時間

幹事報告

ニコニコボックス報告

委員会報告・同好会報告

閉会点鐘 13:30



前回の例会 第2017回 2024年3月28日(木)

開会点鐘 12:30

RCソング『日も風も星も』・『世界に一つだけの花』

ゲストのご紹介 地区国際奉仕委員長 太田正隆様

・ビジターのご紹介 名張RCガバナーエレクト亀井喜久雄様
上野RC 上島栄美子様

食事の時間・出席報告

会長の時間・幹事報告・ニコニコボックスの報告

委員会報告・同好会報告・ロータリーの友読みどころ

本日の行事 国際奉仕『水と衛生補助事業』の実情
地区国際奉仕委員長 太田正隆様

閉会点鐘 13:30

ガバナーエレクト 亀井喜久雄様

皆様、こんにちは。

あと3か月で私の年度になります。今は4月13日の地区協議会の準備をしているところです。本日も地区の代表幹事と共に邪魔する予定でしたが、津の会場で地区協のシュミレーションを行っています。人数が少ない中、懸命に動いているところです。

私ども名張クラブは40名、ホストの名張中央が20名で物理的にも人数的にも大変厳しい状況です。先だっても田山バスター、中井さんより暖かい言葉も頂き、上野東クラブの皆様にも地区協、地区大会のお手伝いを頂きたいということで、今日はお邪魔致しました。

名張では20数年前に一度中央クラブが中野ガバナーを擁して支えたこともございましたが、その時は両クラブで120名おりましたが、現在は半分以下となり大変厳しい状況でございます。そのような中で懸命にやろうと思っておりますので、何卒皆様方宜しくお願いいたします。

3月誕生日のお祝い

鈴木親睦委員長

3月18日 北澤毅会員



『会長の時間 ～ 水と衛生月間に因んで』

令和6年3月28日

2023-2024年度 会長) 長谷川真嗣

安全な水の確保、衛生施設や衛生資源の不足は、世界で最も重要な保健問題の1つであります。

ロータリーはこれまで何十年にもわたり、井戸を掘り、配管工事を行い、浄水設備を整え、流し台やトイレを設置し、人々が安全な水を利用できるように支援してきました。しかし、この一連の事業の最大の課題は、このような設備が整備された後の持続性にあります。一時期、アフリカ、南米、南アジアの一部では持続不可能となった錆びた給水ポンプや老朽化した衛生施設があちこちに見られました。こういったことから近年、ロータリーが設備の設置後の活動の焦点を現地の教育、協力、持続可能性に転換していったと言われています。

ロータリー財団のグローバル補助金、ロータリアン行動グループ、米国国際開発庁(USAID)とのパートナーシップによってロータリーの水と衛生プログラムである「WASHプログラム」は、より効果的で持続的な変化をもたらしています。

我々のような各地域のロータリークラブでも言えることですが、色々な奉仕事業を企画、検討し、立ち上げて実行に移していくことは大事なことです。しかしながら、それ以上に肝要で最も難しいことは、やはり“継続”でありましょう。そのことを肝に銘じて、我がクラブも地域から望まれる奉仕活動を継続していきたいと思ひます。



出席報告 西出席委員長

本日86.67%

修正出席率

2012回 2月15日 100%



幹事報告 西口幹事

- ・来週4月4日の例会ですが長谷川会長の山溪寺さんをお借りしての移動例会になります、駐車場等の案内はFAXを入れさせていただきますのでご確認ください。
- ・4月13日（土）地区研修協議会が三重県総合文化センターで開催されます。出席要請が掛かっている方よろしく御願います。
- ・4月21日（日）ポッチャ大会が津市久居体育館で開催されます。当クラブからは8名の出席要請がかかっておりますので宜しく御願います。



ニコニコボックスの報告 東委員長

名張RC ガバナーエレクト 亀井喜久雄様 お世話になります。
 上野RC 上島 栄美子さま 先日の夜間例会ありがとうございました。本日どうぞ宜しくお願い致します。
 長谷川会長 国際奉仕委員長 太田正隆さま本日の卓話、どうぞヨロシクお願いいたします。
 西口幹事 太田様本日の卓話宜しく御願い致します。ガバナーエレクト亀井様、上島様ようこそ当クラブへ！！
 中井会員、山森会員 太田様、亀井様をお迎えして
 神戸会員、松本会員、出後会員、南会員、小林会員 太田様本日はありがとうございます。
 亀井GEようこそいらっしゃいました。
 中尾会員、鈴木会員、西会員、岡田会員、三谷会員 太田様本日は卓話宜しく御願います。
 子日会員 太田君御苦勞様です。
 伊藤会員 ちょっと良い事がありました。
 西会員、前田会員 ホーム例会欠席のお詫び
 北澤会員 誕生月を自祝して・・・
 東会員 はぐるま会参加して頂けるみな様、参加費6,000円
 4月第2例会の時に集めさせていただきます。

本日合計 28,000円

会場監督 神戸SAA
今月の食事ロスの報告

ロスはゼロでした、引き続き事前の欠席の報告のご協力
 宜しくお願いします。

陶芸同好会

6月9日京都方面へ計画しております。
 計画はプライベートBOXに入れております分
 からない事等がございましたら私の方まで
 宜しくお願いします。

職業宣言 四つの反省
乾会員

次年度幹事 山森副幹事

BOXの中に「上野東RC満足度アンケート」を入れております。
 次年度の運営あたり変化・改革を考えておりますので忌憚のない意見をお聞かせください。回収箱に入れて頂くか、事務局まで提出ください。
 宜しくお願いします。



3月ロータリーの友読みどころ 西口幹事

今月は水と衛生月間という事で太田委員長から卓話頂きますので割愛させていただきます。

横読み

・尾身会長がポリオ記事の掲載頂いております。衛生が悪いとポリオが根絶できないという内容の記事です。
 ステファニー・アーチェツク会長記事よりロータリーは多様性の時代に入っております結婚していない、男であれ女であれ国籍、人種、宗教関係なしでロータリーを普及していきたい事が書かれております。

縦読み

・福島に職住を定めた私、元経済産業省の木野正登さんの記事より、国の参事官。今メディア等々で国の汚染処理水が言われているが実際は基準以下で流している。しかし環境の負荷で考えると自負した思いがあるという良心の板挟みの中でのお話が書かれております。
 ・富岡RCの藤田大さんの記事、2011年東日本大震災の時の思い日常は非日常に変わった時皆さんの援助が気持ちに響きどうしても恩返ししていきたいという内容が書かれていました。
 いつも楽しみにしているところで「私の一冊」読書好きにはとても参考になる本が進められておりますのでご一読ください。



本日の卓話

国際奉仕「水と衛生補助事業」の事実

地区国際奉仕委員長 太田正隆様



皆様こんにちは。

ロータリークラブは南米、あるいは東南アジア、そしてアフリカ、そういったところでのいろんな業績を挙げております。これは我々の仲間がいろいろ奉仕活動という形で進めていただいているわけなので、そういった奉仕活動の上でロータリークラブというのは今ここに存在している。皆さんもその胸につけていらっしゃるロータリーバッジをもっと誇りを持って日々生活をしていただきたいと思っております。やはり、ロータリークラブってどんなクラブなんですかと聞かれることが多いんですけども、大体皆さんはロータリークラブってあまり認識しておられない。ほぼ60パーセントぐらいの人がロータリアン。何やってんのお金持ちが、どっかでご飯食べてるだけじゃない。そういう認識なんですね。ロータリアンというのは我々は地元でいろいろ地域に奉仕をしていますけれども、我々の仲間が世界中でいろんな奉仕活動をしている。そういった意味でこれからお話をさせていただくんですけども、もっと誇りを持っていただきたいというふうに思っております。

この表は、2021年から2022年度のグローバル гранツという補助金があって、その補助金を世界でどういう形で使っているかという表です。主にブルーで示しております疾病予防と治療ですこれが全体の47%に達しておるんですけどもこのほとんどはポリオですね。ポリオプラスそういった意味でポリオの疾病をいかに減らしていくかというのを後でまた申しますけれども、そういったために大きなお金を残しておりますし、今日のメインテーマであります水と衛生ですね。そういったことに対しても非常な額を示しております。この上野という町はもともと服部川という大きなきれいな川がありますけれども、私も、中学のときに自転車で行ってきまして服部川を走ったことがありますけれども、そういう綺麗な川があるので、皆さんはそんなに水が、上下水道ですね。そういったものが不備な地域があるという認識はほとんどお持ちではないと思いますけれども、世界にはそうじゃないことがたくさんある。それでもなくなる人もたくさん見えるということが現実にあるわけでありまして。そしてまた地域社会との経済発展にお金を出している。そして基本的教育と識字率向上、やはり日本人が字が書けない日本語が読めないそういう人はほとんどいないわけですが、外国へ行きますとそうはいきません。子どもたちが学校へ行っても勉強できない、そういう環境がたくさんあるということがわかっております。またそれについてもお話しさせていただきたいと思ひますし、母子の健康ですね。周産期の子どもを産むときの母親であるとか、子どもたちがたくさん亡くなっております。そういったことも現実にあるわけなので、そういったものを少しでも減らそう、というのが、今ロータリアンがやっている大きな事業の柱であります。平和構築と紛争予防ということで皆さんもご存じの小笠原貞子さんという方がお目になりますがこの方は日本で第一号の学友の方で、日本ロータリークラブからお金をいただいて留学されてそのまま国連に入られて国連の活動をされたというような方。今に現在も国連の中ではナンバー2に匹敵するような素晴らしい仕事をして見える女性の方も見えるわけですがそういった方も、学友の援助を得て留学をされた、そういった方がたくさんお目になります。そして環境につきましても今我々は地球が非常に危ない宇宙船。地球号がいつか滅びるかもしれない。そういうことも言われております。けれども、そういった意味で地球を救うといういろんな環境にも通じてですけれども、事業をしています。そして我々国際奉仕委員会がどういうことをやっているかということにつきましていろいろ書いてみました。地区内のロータリークラブに対して、他国のロータリークラブと補助プロジェクト補助金ですね。DCSと言っています。この提携をするように推奨しております。やはりまだロータリアンといえども、そういう事業をしている国際奉仕をしているんだということを認識していただけないものが多いので、今日も私こへやってまいりましたけれども、そういった意味でいろんなクラブへお邪魔して国際奉仕委員会がどのような仕事をしているかということにつきまして、いろいろ周知をして、少しでも皆さんがそういう奉仕活動に参加をしていただく、それのお手伝いをさせていただく、そういった意味で国際奉仕委員会が仕事をしていますということをアピールをしにやってまいりました。そういったことで、発展途上国の危惧が貧困、疾病、教育そして環境等の改善を試みております。このDCSという地区補助金ですけれども、これは今回、今年度から名前が変わったんですけれども、DCSというのは会員1人当たりだいたい200円ぐらいのお金を地区へ吸い上げているとそのお金でもって、地区のいろんな奉仕活動に対して補助をします。200円って大した額じゃありません。皆さんが知らない内にポケットの中に入れとる。それが200円、ただロータリアンは今86,000人お見えになりますけれども、全部足すと1,700万円ぐらいになっちゃう。非常に人数が多いというと金額が多くなってしまふということもあります。そういった意味で国際奉仕活動に未経験なクラブも、ぜひともDCS活動として皆さんにお願いをして、海外の困っている人々を助けるためにいろいろ手伝いをいただきたい。もう一つ、グローバル補助金ということですけれども、年間皆さんは財団のほうに、150ドル、4万円ぐらいのお金を財団に寄付をさせていただいています。100%じゃないクラブもありますけれども、でもほとんど満額いただいているわけですがすけれどもこの資金を財団が3年間投資運用するということで、20~30%の増収をさせていただいている。原資が20~30%増加したところで、そのうちの50%を地区財団活用資金としてDDFということですがすけれども、クラブの活動資金の援助金として使用するということがあります。

もう一つ、残りの50%は、国際団体の活動資金、WFとしてDDFの80%のお金を補助金として使っていくという形になっております。例えば、各クラブで500ドルぐらいのお金が集まることによって、それに対する20倍ぐらいのお金が全体で流れできるという形のことがあります。それはどういうことかといいますと、例えば今年度の事業になるわけですが、今年度は3330地区というタイのクラブ、これと3350地区というタイのクラブがあります。その2つのクラブの地区に対しましてお金を集めました。今年度のガバナー篠原さんがいろいろご努力をいただきまして、そのおかげをもちまして1つの事業が完成されることができました。これは3330地区に対して各クラブから500ドル500ドルと言うと7万円ぐらいのお金だと思いますけれども、それぐらいのお金を各クラブから出していただいた。2630地区が6クラブから集めたということで、そのお金が全部集まって、しかもそこでDDFとしてかなりの額が入ってまいりました。それと80%のWF。そういったお金が集まることによりましてほぼ1千万円ぐらいの事業がされております。これは我々の地区2630地区だけではなくて援助を受ける側のクラブ。ロータリークラブあるいはロータリーの地区から同額の資金を出すことによって1千万円ぐらいの事業ができます。そういったことで各クラブの負担としてはそんなに多いものではありません。7万円ぐらいでもそういった1千万円ぐらいの事業が完成することができるということが今年度もありました。そういった意味で皆さんのクラブも毎年というわけにはいかないんですけど、例えば10年に1回ぐらい補助にお手伝いしようかというようなことを言っていたくことができれば一クラブだけでもいいわけですが、いくつかのクラブを集めることによって大きな事業を遂行できるような形になるんだということの一例として、今年度遂行させていただきました。そういった意味で皆さんのちょっとした心持ち思いやりが、外国で苦しんでいる人たちに非常に役に立っているんですよ、ということが分かっております。そしてこの世界の社会奉仕ということにつきまして、WCS補助金というのが動いておりますけれども、次年度は亀井ガバナーエレクトにおきましては、2024年の8月31日が一時申請の締め切りになっておりまして、二次申請も12月23日に締め切りということで、もし良ければ上野東ロータリークラブの方々も参加していただければそういった事業の中へ組み入れることによって外国で困っている人たちに何らかの手を差し伸べたい、そういうふう考えております。

ここから本題になるわけですが、国際水の日っていうのを皆さんご存じだと思います。今月号のロータリーの友にはこの特集が出ておりまして、例えばお手洗いの設置についてのいろんな記事が出ておるとは思いますけれどもまた皆さんお家に帰られたらしっかり読んでいただきたいと思っておりますけれども、これは1992年の12月に国連、総会で申しまして制定されたことでありまして、この3月22日に国際水の日という制定がありました。地球上のすべての経済活動あるいは社会活動っていうのは、衛生的な水がなければならぬ、人の生活も絶対うまくいくはずがない、ということがわかっております。しかし現状のことを言いますと、全世界で半分の家では衛生設備がありません。4分の1の世界では安全な飲料水が得られないということが現に行われております。そういった非衛生的な水が原因で5歳以下で亡くなってしまう人の数が毎日です。毎日1,000人を超しているそれが現状であります。そういう人たちにどうすればいいか、皆さんもすぐお分かりになると思います。そういった意味でマダガスカル島というのはアフリカ近くの島ですがここはほとんど水が流れません。川がないという地区であります。20キロぐらい離れたところまで子どもたちが20リットル入りのタンクを運んで水を踏みに行く。それがその日の飲料水であり、生活用水であり、手を洗う水であるということも現実に行われております。また、世界で清潔なトイレを利用できない人たちは3分の1、3人に1人ということが分かっております。私もインドネシアに行ったことがあるんですけど、インドネシアは湿地がものすごく多いんですね。高床式の建物が建っております。台所はどこにあるのか、台所はありません。お手洗いはどこにあるのか、そんなもんありません。どうするかと言いますと、建物の下に片隅にお母さんが料理を作ってその日の食事を作るというのが現実であります。その横には沼みたいな泥沼がいっぱいあるわけですが、お手洗いないということはどこでするんですかということですが、そういった水があまりきれいじゃない水がその辺あふれているわけです。そういったところで料理を作るということで感染性の胃腸炎を起こしたり、あるいはそういったきれいな水ではないところは蚊がいっぱい飛んでおります。マラリアとかそういう感染症が非常に多く起こるという現状になっております。今、世界で人間を殺している動物で一番多いのは何か？、実は蚊なんです。70万人ぐらいの人が毎年蚊の伝達する伝染病で死んでいる。その次はたぶん人間が紛争でもって人を殺す。そういうことが起こっているわけですが、一番不潔な水の中には蚊がいっぱいいます。蚊はそういった媒体としてマラリアを全世界で蔓延させているということで、今ポリオはだいぶ人数が減ってきたということもありますけれども、次に何をしようかということでそのマラリアが一つのテーマに上がっている。それぐらいマラリアというのは非常に怖いものであります。そういった意味で非常に感染症というのは今世界中の問題になっている。もう一つは不衛生な状態というのがありまして、出産や妊娠の合併症で亡くなる方は女性の数は1日800人いるということで、実はハイチという国があります。これは南米のところで、西半球では非常に貧困であるということがわかっている地域でありますけれども、そこでは、終産期子どもをお腹の中に育てている母親、あるいは出産をもとに、子どもが死んでしまう、あるいは母親がそのまま出血多量で死んでしまうということが現実にあります。そこへ持ってきて移動クリニックを開始しました。これは簡単な車に医療機具を乗せて遠くにいる母親が出産をするようなところへ行行って清潔に出産をできるようにお手伝いをする。そういう助産士と医療ボランティアが僻地へ行って母親と子どもに医療ケアを提供する。それによって周産期の死亡率を減らしていこうということです、これもロータリークラブがやっている事業の一つでありますけれどもその車で、その国の母親を守って命を守るようなことが現実に行われております。

もう一つ先ほど言いましたインドネシアの話ですけれども、インドネシアには2千万世帯にトイレがないんです。その辺でやっちゃうわけですね、一世帯4人と見積もっても、ほぼ8千万人の人が川やしげみで用を足してしまいます。実はインドネシアは今人口が非常に増えているところでもありますから、一世帯が4人ということはまずありません。5、6人ということが多いんですけれどもですから、場合によっては非常に多くの方がですね。綺麗なお手洗いをすることができない。疾病予防の観点から改善すべきことがあるということが分かりましてある地域からですね。水と衛生を改善しようということで3,420地区との共同事業としまして、インドネシアのソロン地区というところがありますけれども、ここへですね、洗濯員分のトイレを設置しました。これは3年ぐらい前だったと思いますけれども、設置をしたんですけれども、その後ですね。これによって年間500人から1,000人ぐらいの人が助かったということが分かりました。地元からのいろんな応援がありまして、その後も実はインドネシアのソロン地区では地元から大きなお金が集まってですね、100万台のトイレを設置したということが現実で行われております。ということはグローバルグラントで我々プロタリークラブの仲間がですね、いろいろトイレを設置したことがきっかけとなって、その地域でもっともっと多くのそういう事業が引き続き行われたということで、衛生管理が非常に良くなったということが分かっております。やはりロータリークラブの話ですので、ポリオの話は中々抜けないところなんですけれども、ポリオウイルスというのはですね。皆さんそんなにご存じないと思います。もう日本ではほとんどないというか、発症はないわけですね。ですから、ポリオのウイルスというのは寿命がほとんど短いです。1,2週間で死んでしまいます。しかも、ポリオウイルスというのは人間にしか寄生することができない、例えば牛とか豚とかそういったところにくっつくわけにはいきません。ですから、排泄されたものが直接誰かの手に移って、それを口に入れウイルスを中に入れて食べてしまう。それからポリオがいろんな人に伝播するということが分かっておるので、ポリオという病気はですね。根絶できる疾患であるということが分かっているんですね。そういったこともあるので何とか減らそうということが言われておりますけれども、実はポリオというのは、紀元前1,400年、3,500年ぐらい前からですね。そういう記載があります。これはエジプトのヒレオブルフという、石板に描かれた絵の中に足がなえた人の絵が描かれている。これはポリオであろうというふうに言われてますけれども、そういったことで今までロータリークラブは700億円以上の資金を提供して122カ国、世界中で120カ国ぐらいあるわけですけど、ほとんどの国で20億人以上の子供にワクチンを投与しております。1988年35年ぐらい前ですけどもこのときには世界で35万人、発病したと言われてます。アメリカでもたくさんポリオにかかって亡くなったということもありました。それが2005年18年前には1,500件に減ったということになります。そういうことでロータリークラブが出しておるポリオに対する治療を進めるということで、しかもビルゲイツ財団が年間ロータリーが5,000万ドルの寄付を達成するために同額の寄付をゲイツ財団から出そうということが約束されてましたので2007年からポリオ根絶に向けて2,300億円のお金が集まっているということで、ロータリーのお金の47%がこれに費やされてるんですよということがわかっております。こちらは細かいので見にくいと思いますが2016年にはパキスタンで20件、アフガニスタンで13件、全世界で37件の発症がありました。常在国というのは直接ポリオウイルスによる発症であります。非常在国というのは直接ではないんですけども、そういった排泄物から感染した方の発症ともあるということがわかっており、実は2023年、去年の発症率はパキスタンで6例、アフガニスタンで6例、総計12例ということで、アフリカではほとんど発症がないということも出てきました。ただ、そういった意味でまだまだこのアフガニスタンであるとかパキスタンという国は、どこで子供が生まれたかわかんないんですね。人口動態というのはわかっておりません。だから子供が生まれたらその子供にポリオワクチンを投与する。これは簡単なことなんですけども、どこにその対象者がいるかということもわからない。あるいはアフガニスタンは非常に紛争の最中の国でありますから、そういったことで外国から人が入ってくること非常に危機感を持っている国であります。だから我々がポリオワクチンを持って行ってもなかなか入れてくれないというところでもありましてなかなか治りにくい国があるということはワクチンの接種ができない。そういうことで、なかなか根絶はまだ少しかりますけども、何とか治していこうということが言われております。やはりこういう事業で持ちまして予防接種があることによって年間300万人の命が守られている。しかも野生種のポリオハッシュは減ってワクチン由来の二次感染によるものがたまにはありますけどもほとんどなくなってきたということで。ロータリークラブはこれまでに700億円以上の資金を提供して先ほど言いましたけどもワクチンを投与している。これだけではありません。例えばロータリークラブとしまして財団が創設以来、総寄付額は20兆円を超えています。日本の国家予算より多いぐらいになりますけども、これは過去の会費や、あるいは財団からの寄付金、そういったものを集めて20兆円のお金を集めております。世界のそういう奉仕団体の中で、これだけの寄付額を集めて社会のために何らかの事業をしているというクラブは、あるいは集団はありません。このロータリークラブが唯一そういったことができる所です。そういった意味でこれからも皆さんが普段ロータリークラブって何してるんだということを思われるかもしれませんが、我々の知らない所で我々の仲間が大きな国際的な世界の奉仕をしているということがあります。そういった中でロータリアンというのは、皆さんからある程度の敬意の念で見られているわけなので、ぜひとも皆さんはもっともっと自分がロータリアンであるということの自信を持って頂いて、胸を張ってロータリーバッジを付けていただきたいと思います。そしてそういったことがもっともっと世界中で広まるように、この2630地区をもう少し頑張って、地区のためにいろいろな奉仕をしていこうと考えておりますので、ぜひとも皆さんのご理解もお願いしたいと思っております。どうも今日はありがとうございました。